

業務部速報

No. 14

発行 14. 7. 30

JR東労組 業務部

申2号 京浜東北・根岸線および横浜線の乗務員基地再編成に関する解明申し入れ交渉

継続議論「社員説明を行った理由」(第2項関係)

3回目 ①

東京	3支社にまたがる大きな施策のため。
横浜	支社実行計画に再編の準備を明記していたため、および東京で周知したため。
大宮	東京で周知していたため、および宇都宮線の再編の検討時も全運車職場で周知していたため。

組合

詳細が答えられない状況で社員説明を行ったことに関して、本社の見解は？

会社

社員説明実施の決定権は支社にあり、本社は評価する立場にない。

各地本・支社間の交渉で掘り下げて議論する事を確認！

第4項 乗務員基地の新設工事計画、今後の社員説明、施策に対する面談時期、施策に伴う異動時期等の施策実施までのスケジュールを具体的に明らかにすること。

確認メモに基づく社員説明、面談の進め方を確認！！

- ・労使の合意形成のために交渉し、認識を深めた上で社員説明を実施する。その上で施策に関わる内容について、会社から話し、社員一人ひとりの意見を把握していく。
- ・認識が深まっていなければ、10月の通常面談で、会社から再編に関わる質問はしない。
- ・施策に対する説明・面談の時期および説明の範囲は、各地本・支社間の議論を通じ支社が判断する。
【通常面談】→自己申告書に基づく面談 【施策に対する面談】→施策の具体的内容について説明し意思の把握

【乗務員基地新設・廃止の時期】

- ・施策の目的から決めているのではなく、環境が整う箇所から順次使用開始する考え。

【新設工事のスケジュール】

- ・工事の内容(新築、改築など)により工事の着工時期が違う。
- ・さいたま運転区(仮称)、さいたま車掌区(仮称)は工事が少ないと想定している。

第5項 再編成後の区所名を変更する理由を明らかにすること。
また、従来までの区所名の考え方を明らかにすること。

組合

区所名を変更する理由は？

会社

区所再編の中で新たなイメージは大事だ。

駅名が基本ではないのか？

駅名、行政区名など地域を代表するような名称を支社で考える。

選定場所に指定するなら、地域の人にわかりやすくすべきだ！各地本・支社間の議論経過など様々な意見を踏まえ決めていくことを確認！

第9項 現浦和電車区、浦和車掌区を統合しない理由を明らかにすること。

【統合しない理由】

- ・基本的には運輸区化を目指すとの考え方であるが、場所が確保できず今回はやむを得ないとの判断。
- ・将来に向けて乗務線区のあり方など勉強し、新たな考え方があれば出したいが、現時点では何とも言えない。

【さいたま車両センター(仮称)】

- ・運転士と車掌の連携を第一に考え、同時にメンテナンスに特化した体制とする。
- ・要員規模は現浦和電車区の検修部門のイメージ。